

# 密度からみた日本における医療の地域間格差

## — 医師密度・医療機関密度の分析 —

加藤 幸治

本学地理・環境コース 教授

### I. 本稿の目的

医療の地域差・地域間格差、とりわけ、その「西高東低」とも呼ぶべき状況を指摘するものには枚挙に暇がない。

厚生労働省は『医療費の地域差分析』を2011年(2009年度の分析)以降、毎年公表している<sup>1)</sup>。これは、都道府県別1人当たり医療費について、その実績値を示すとともに、「人口の年齢構成の相違による分を補正した1人当たり年齢調整後医療費と、それを全国平均の1人当たり医療費で指数化した『地域差指数』を用いて地域差分析を行った」(『医療費の地域差分析』2018年版による)ものである。その結果として指摘されるのが、「1人当たり年齢調整後医療費を都道府県別に見ると、北海道と西日本が高く、東日本が低い傾向にある」(同)ことである。この傾向は一貫している。それが「西日本の方が医療費が高い「西高東低」の傾向が続く」(朝日新聞、2020年11月30日)といった形で報じられ、医療費の「西高東低」として知られるところとなっている。

こうした状況は医療費の問題に限ったことではない。人口当たりの医師数、病床(ベッド)数、医療機関(病院と診療所)数においても、その地域差、「西高東低」が認められる。人口10万人当たりの医療機関数、病床数を二次医療圏別に捉え、「西高東低」を明言した地理学的な成果として中村(2017a, b)があるし、筆者も医療従事者の「西高東低」に触れたことがある(加藤、2011a)。加えて、こうした地域差や「西高東低」が、ネット記事や「都道府県ラ

ンキング」といった形で取り上げられることで巷間に流布している。それだけ「西高東低」が明瞭だからだといえよう。

ところで、こうした医療の地域差・地域間格差を捉える際、人口千人当たりや10万人当たりといった単位人口当たりの指標を用いることが多い。人口10万人当たりという単位は保健医療関係の統計でしばしば使われるものであるし、単位人口当たりの数値を基準にすることで、人口数の異なる地域における状況の比較も可能になる。ただし、単位人口当たりの数値を用いるだけでは、医療の地域間格差を考える上では不十分な点があると言わざるを得ない。

単位人口当たりの医療機関数は、そこに住む人口数に「見合う」だけの医療機関の数があるのかを確かめる上で重要ではある。それが一定程度満たされていないければ、そもそも医療サービスの需給バランスを欠き、受療の機会を得られないかもしれないからだ。とはいえ、単位人口当たりで人口数に見合うだけの医療機関が各地域に「均等」に存在していたとしても、それで医療サービスの地域間格差がないとするわけにはいかない。その地域がいかなる「広さ」・「広がり」を持つかは、医療サービスの地域差を左右する要素でもあるからだ。

これは救急医療を想定すれば理解しやすい。各地域で同じ単位人口当たりの医療機関(ここでは救急センターとする)があったとしても、それぞれの地域で、そこまでの距離や時間がどれほど掛かるかは、各地域の広さに規定されやすい。救急センターがそれぞれの地域の中心にあったとしても、各地域の「端」(縁辺部)から

中心への距離は、広い地域と狭い地域とは異なるし、どれほど時間が掛かるかも異なってくるからだ。

中心から同心円状に広がる抽象的な空間の「広さ」を想起した場合、地域の面積が4倍であれば、端から中心までの距離は2倍になることから知られるように、面積と距離の関係は二乗根（平方根）で得られる。この点からも、到達距離や時間が広さに規定されやすいことを指摘できる。

もちろん、同じ面積でも領域の外形や、地域の道路状況や敷設の仕方によっても、「端」から中心までの到達距離や時間距離は異なってくる。また、同じ単位人口当たりの医療機関数があったとしても、その立地・配置によっても到達距離や時間は異なる。地域に2つの救急センターがあり、それらがほぼ中心に2つとも立地している場合と、地域を東西に二分割した場合のそれぞれの中心に立地している場合とでは、まったく状況は異なる。また、地域内の人口が集住しているのか、分散的であるのかによっても、総体としての状況は違ってくる。

これらの例からみられるように、医療の地域差・地域間格差は、単位人口当たりの数値をもってだけでは捉えることができない問題なのである。広さ（面積）や、それに規定されがちなアクセス距離・時間といった問題から、領域の外形、道路網の「形」、医療機関や人口の立地・配置や分布の状況といったより複雑な問題をも考慮すべきものである。ただし、こうした点については十分な注意が払われているとはいえない。これらはいずれも、きわめて地理的・地理学的な対象たる問題であるから、斯学の貢献すべき余地は大きいといえよう。

そこで本稿では、地理学的視点から、近年の医療の地域差・地域間格差を捉えなおす上での第一歩として、これまで見過ごされがちであった、地域の面積に注目して、医療の地域間格差とその具体像を明らかにしていく。とりわけ単

位面積当たりの数値（＝「密度」）を指標にした分析を行っていく。地理学的にはごく基礎的問題ではあるが、見過ごされてきた地域の「広さ」や「広がり」に着目していくにあたって、まずは地域の面積を考慮に入れた分析を行おうということである。

こうした分析のヒントになったものとして清山（2010）がある。清山（2010）では、医師である著者が実感する県内の「医師不足」、つまり標題の「なぜ宮崎に医師はいないのか」の理由の一つとして、単位面積当たりの医師数の違いがあることを説明している。人口当たり医師数では全国平均に引けを取らないものの、単位面積当たりでは全国平均の半分にも満たないことを説き、県内二次医療圏の単位面積当たり医師数の比較も行っている。こうした分析を全国に敷衍することも本稿の目的の一つである。

## Ⅱ. 方法

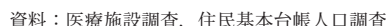
分析は2016年前後のデータをもとに行う。医療機関数は厚生労働省『医療施設調査』を、医師数は同『医師・歯科医師・薬剤師調査』を用いて把握したが、分析着手時において、それぞれの最新データが2016年版だったからである。

『医療施設調査』にある病院、一般診療所を合わせて「医療機関」と呼び、その数を医療機関数とした。医師数は、『医師・歯科医師・薬剤師調査』にあるその主たる従業地による医療施設従事医師数を用いた。普段の受療においては、医療機関（病院・診療所）にアクセスし、そこで診察・処置を受けることが通例であり、それを想定しているからである。

人口は住民基本台帳人口を、面積は国土地理院の『全国都道府県市区町村別面積調』による値を用いる。その際、二次医療圏の人口と総面積は国土数値情報よりダウンロードした「二次医療圏シェイプファイル」に組み込まれている

二次医療圏のこれらデータについては付表に  
まとめている。参照されたい。

人口10万人当たりの医師数をもっとも多いのが京都府(325.3人)である。それに東京都(319.6人)が次ぐものの、それ以下は徳島県(309.6人)、岡山県(300.9人)、福岡県(300.0



人)の順である。東京都を除いて全て西日本であり、6位以下にも西日本の各県が並ぶ。逆に、人口10万人当たりの医師数が少ない都道府県は、埼玉県(162.3人)、茨城県(179.6人)、新潟県(190.2人)、福島県(191.5人)、岩手県(191.5人)の順で、すべて東日本の県である。ここからも人口10万人当たりの医師数の「西高東低」を指摘できる。

人口10万人当たりの医療機関数にも同様のことがいえる。もっとも多いのは和歌山県(115.2件)で、以下、徳島県(112.1件)、島根県(111.6件)、長崎県(110.5件)の順になっている。5位に東京都(106.7件)が入るものの、6位以下も京都府(104.7件)、大阪府(102.9件)、山口県(101.7件)、福岡県(101.0件)と、西日本各県が続く。ここまでが、人口10万人当たり医療機関数が100件を超える都府県である。東日本で10位以内に入るのは東京都のみとなっている。人口10万人当たりの医療機関数においても、強い「西高東低」を確認できる。

とはいえ、こうした地理的状況は単位面積当

たりの医師数・医療機関数においては一変する。

## 2. 総面積当たりでみた都道府県別医師密度・医療機関密度

都道府県別の単位面積当たり医師数(医師密度)・医療機関数(医療機関密度)においては、大都市部における突出が著しい(図2)。医師密度では、東京都(18.9人/km<sup>2</sup>)、大阪府(12.5人/km<sup>2</sup>)の順に密度が高い。これに神奈川県(7.8人/km<sup>2</sup>)、埼玉県(3.1人/km<sup>2</sup>)、福岡県(3.0人/km<sup>2</sup>)、愛知県(3.0人/km<sup>2</sup>)が続く。ここまでが医師密度3.0人/km<sup>2</sup>以上、次ぐ千葉県(2.3人/km<sup>2</sup>)までが、医師密度2.0人/km<sup>2</sup>以上となっている。

医療機関密度でも、東京都(6.3件/km<sup>2</sup>)、大阪府(4.7件/km<sup>2</sup>)、神奈川県(2.9件/km<sup>2</sup>)、埼玉県(1.2件/km<sup>2</sup>)の順で、医師密度と同じ順である。以下、愛知県(1.1件/km<sup>2</sup>)、福岡県(1.0件/km<sup>2</sup>)で、この6都府県のみが医療機関密度が1.0件/km<sup>2</sup>以上である。いずれも大都市圏を有する都府県であり、そのなかでも東京

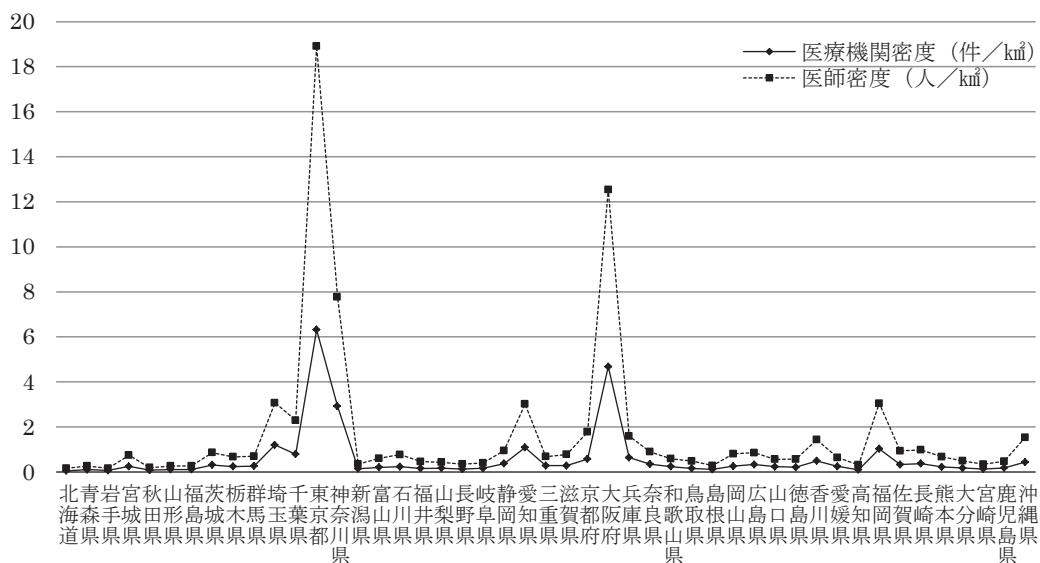


図2 都道府県別の医師・医療機関密度

資料：医療施設調査，都道府県・市区町村のすがた（社会・人口統計体系）

都、大阪府における密度が突出して高い。

反対に、医師密度が低いのは、岩手県 (0.161 人/km<sup>2</sup>)、北海道 (0.163 人/km<sup>2</sup>)、秋田県 (0.194 人/km<sup>2</sup>) の順で、これら道県では医師密度は 0.2 人/km<sup>2</sup> に満たない。医療機関密度でも北海道 (0.050 件/km<sup>2</sup>)、岩手県 (0.065 件/km<sup>2</sup>)、秋田県 (0.075 件/km<sup>2</sup>) の順で、これに高知県 (0.098 件/km<sup>2</sup>) を加えた 4 道県では、医療機関密度が 0.1 件/km<sup>2</sup> 未満である。医師密度・医療機関密度ともに、大都市部、とりわけ東京都・大阪府で高く、北海道と北東北の 2 県など国土縁辺部では低い。明らかな対照が認められる。

とはいえ、ここでの面積は都道府県の総面積であり、林野や山岳地域も含まれる。そこで「分母」たる面積を総面積ではなく、可住地面積にして、医師密度・医療機関密度について確認しておこう。

### 3. 可住地面積ベースでみた都道府県別医師密度・医療機関密度

可住地面積ベースで医師密度・医療機関密度

をみても、基本的状況に変わりはない (図 3)。

可住地ベースの医師密度では東京都 (29.2 人/km<sup>2</sup>)、大阪府 (17.9 人/km<sup>2</sup>)、神奈川県 (12.8 人/km<sup>2</sup>) の順に密度が高い。これに京都府 (7.0 人/km<sup>2</sup>) が次ぎ、さらに福岡県 (5.5 人/km<sup>2</sup>)、愛知県 (5.2 人/km<sup>2</sup>) の順となっている。大都市部の高さ、とりわけ東京都が突出して高い状況に変わりはない。反対に可住地ベースの医師密度が低い都道府県は、北海道 (0.570 人/km<sup>2</sup>)、岩手県 (0.662 人/km<sup>2</sup>)、秋田県 (0.704 人/km<sup>2</sup>) であり、これに青森県 (0.794 人/km<sup>2</sup>) が続く。

医療機関密度でも、高いのは東京都 (6.3 件/km<sup>2</sup>)、大阪府 (4.7 件/km<sup>2</sup>)、神奈川県 (2.9 件/km<sup>2</sup>) の順で、京都府 (2.3 件/km<sup>2</sup>) がこれに続く。これに対して医療機関密度が低いのも、北海道 (0.176 件/km<sup>2</sup>)、岩手県 (0.267 件/km<sup>2</sup>)、秋田県 (0.274 件/km<sup>2</sup>)、青森県 (0.303 件/km<sup>2</sup>) の順となる。

このように可住地面積ベースで医師密度・医療機関密度をみても、大都市を抱え、大都市圏内に位置する都府県で高く、北海道・北東北 3

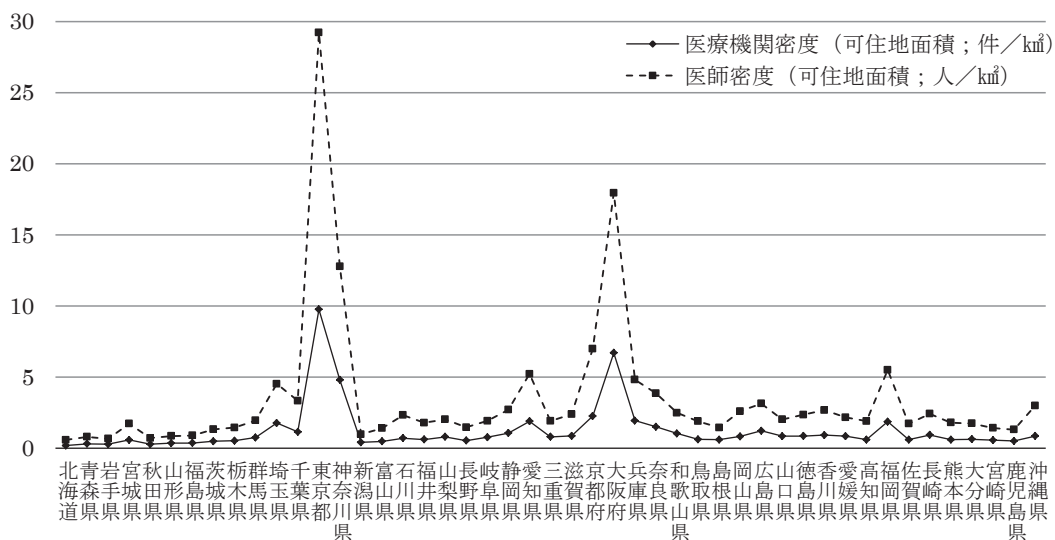


図 3 都道府県別の医師・医療機関密度 (可住地面積ベース)

資料：医療施設調査、都道府県・市区町村のすがた (社会・人口統計体系)

県に代表される地方圏では低いことは明らかである。こうした状況は図4・5からも明瞭に見て取れる。両図は「自然分類」を用いて、「データ値の差異が比較的大きい部分に境界が設定されるように」階級区分した図である(esri社ホームページによる)。こうした階級区分によって強調してあることから、より理解しやすくなっているように、地方圏は総じて医師密度・医療機関密度が低い。反対に、医師密度では東京都のみが、医療機関密度では東京都と大阪府のみが、密度のもっとも高い階級に区分される。両都府あるいは東京都が他を凌駕する地位にあることを確認できる。

可住地面積当たり医師が多く、また医療機関数が高いことは、総体として医療サービスへの

アクセス距離が短く、その点で医療サービスへのアクセスが容易だとみなすことができる。そうしたメリットを有する大都市部と、それとは対照的に、距離的な面で、医療サービスへのアクセスの困難性を有する地方圏という状況が、ここから浮かび上がる。

とはいえ、ここまでは都道府県別の分析であり、日常的な医療サービスへのアクセスとは直結しない部分もある。そこで以下では、二次医療圏を単位とした分析を行う。日常的な医療という点では、基本的に市区町村を単位とする一次医療圏が設定されているものの、「手術や救急などの一般的な医療をその区域内で完結することを目指して設定したエリア」(朝日新聞、2020年12月10日)が二次医療圏である。二次

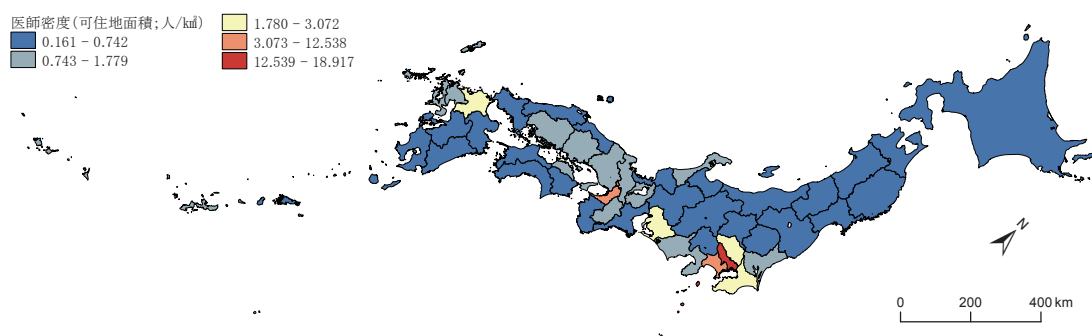


図4 都道府県別医師密度(可住地面積ベース;人/km<sup>2</sup>)

資料: 医師・歯科医師・薬剤師調査, 都道府県・市区町村のすがた(社会・人口統計体系)

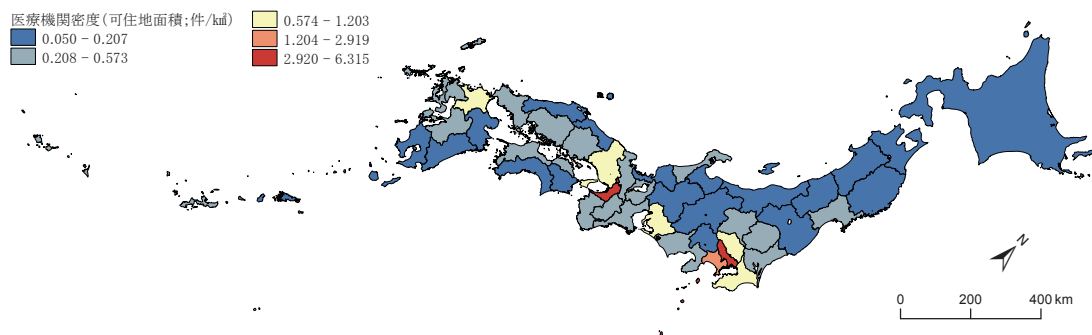


図5 都道府県別医療機関密度(可住地面積ベース;件/km<sup>2</sup>)

資料: 医療施設調査, 都道府県・市区町村のすがた(社会・人口統計体系)

医療圏は「医療計画において、病院等の病床の整備を図るべき地域的単位となる区域である」（前田、2019）ことから、これが医療の地域間格差をみる上での基本単位といえるものだからである。

#### IV. 二次医療圏別にみた医師密度・医療機関密度

##### 1. 二次医療圏別の人口10万人当たりの医師数・医療機関数

ここでも、単位面積当たりの分析に入る前に、まずは人口当たり医師数・医療機関数について確認しておこう。二次医療圏別の人口10万人当たりの医師数・医療機関数で上位の二次医療圏をみると、やや意外な印象を受ける（表1・2）。これらの値が下位の二次医療圏のほとんどは地方圏に位置する二次医療圏である

ものの、上位の二次医療圏には、大都市部のみならず、地方圏の二次医療圏も含まれるからである。

人口10万人当たりの医師数の上位2位までは東京都、それも特別区部の二次医療圏である。とはいえ、以下10位までに、その他の東京都と大阪府の二次医療圏は入らない（表1）。また人口10万人当たりの医療機関数でも、上位3位までは東京都区部と大阪府の二次医療圏が占め、また6位に区西部（東京都）が入るものの、島根県、長崎県、和歌山県、愛媛県の二次医療圏が10位までに入っている（表2）。島根県に至っては3つの二次医療圏が人口10万人当たり医療機関数の上位10位に入り、その数は東京都と同じでさえある。

とはいえ、人口10万人当たり医師数の多い二次医療圏においては、そこに、多くの医師を抱える大学病院が立地するに過ぎない側面があ

表1 二次医療圏別人口10万人当たり医師数順位

順位	二次医療圏名	都道府県	医師数
1	区 中 央 部	東 京	1258.22
2	区 西 部	東 京	487.16
3	久 留 米	福 岡	445.48
4	出 雲 島	島 根	439.03
5	前 橋 群	馬 群	436.14
6	熊 本 熊	本 熊	417.73
7	京 都・乙 訓	京 都	408.30
8	安 房	千 葉	401.25
9	西 部	鳥 取	397.51
10	つ く ば	茨 城	393.01
：	：	：	：
335	常陸太田・ひたちなか	茨 城	101.06
336	北 秋 田	秋 田	96.10
337	根 室	北海道	95.59
338	筑 西・下 妻	茨 城	94.48
339	日 高	北海道	91.22
340	曾 於	鹿児島	90.05
341	鹿 行	茨 城	87.53
342	相 双	福 島	86.79
343	尾 張 中 部	愛 知	84.16
344	宗 谷	北海道	81.70

資料：医師・歯科医師・薬剤師調査、都道府県・市区町村のすがた（社会・人口統計体系）

表2 二次医療圏別人口10万人当たり医療機関数順位

順位	二次医療圏名	都道府県	医師数
1	区 中 央 部	東 京	286.73
2	大 阪 市	大 阪	135.01
3	区 西 南 部	東 京	133.62
4	大 田 島	島 根	129.20
5	長 崎 長	崎 長	128.49
6	区 西 部	東 京	125.58
7	和 歌 山	和歌山	124.71
8	益 田	島 根	123.34
9	浜 田	島 根	122.63
10	八幡浜・大洲	愛 媛	119.84
：	：	：	：
335	東 部	埼 玉	55.85
336	遠 紋	北海道	55.09
337	常陸太田・ひたちなか	茨 城	54.79
338	南 西 部	埼 玉	54.32
339	釧 路	北海道	54.11
340	古 河・坂 東	茨 城	53.64
341	中 部	沖 縄	50.64
342	相 双	福 島	48.82
343	鹿 行	茨 城	46.42
344	根 室	北海道	39.73

資料：医療施設調査、都道府県・市区町村のすがた（社会・人口統計体系）

る。唯一の例外ともいえるのが安房（千葉県）である。ただし、ここには医療業界で近年注目を集める亀田総合病院が立地する。その規模は大学病院に匹敵するもの（医師数約450名：2020年末現在）であり、当該医療圏の医師数（2016年では545人）の80％以上もの医師数を抱える。こうした大病院が立地することが人口当たり医師数を引き上げていると考えられる。

こうした事情は、二次医療圏別人口10万人当たり医師数の地図に明瞭にあらわれている（図6）。大学病院や亀田総合病院のような大病院のある二次医療圏では人口10万人当たり医師数が明らかに高い。これらの医療機関は、二次医療圏の中心のみならず、「二次医療圏をあ

わせた区域であって、主として特殊な医療を提供する病院の病床の整備を図るべき区域」（前田、2019）であり、「原則として都道府県の区域を単位として設定されて」いる三次医療圏の中心でもあり、そうした医療機関の存在が、人口10万人当たり医師数を引き上げているからだと考えられる。

一方、人口10万人当たり医療機関数の多い二次医療圏においては、必ずしも人口が多くないことが影響していると考えられる。人口10万人当たり医療機関数で1位の区中央部（東京都）は東京都区部の二次医療圏としては最少人口の二次医療圏である（付表参照）。また上位10位に入る島根県の3つの二次医療圏の人口

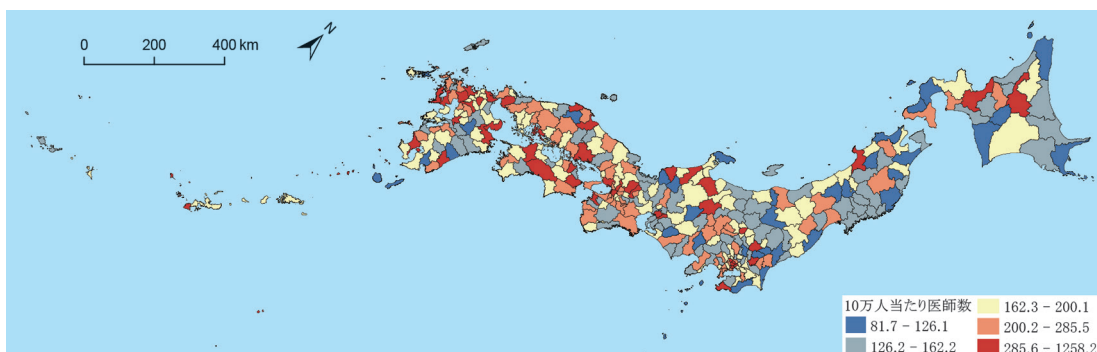


図6 二次医療圏別人口10万人当たり医師数

資料：医師・歯科医師・薬剤師調査，都道府県・市区町村のすがた（社会・人口統計体系）

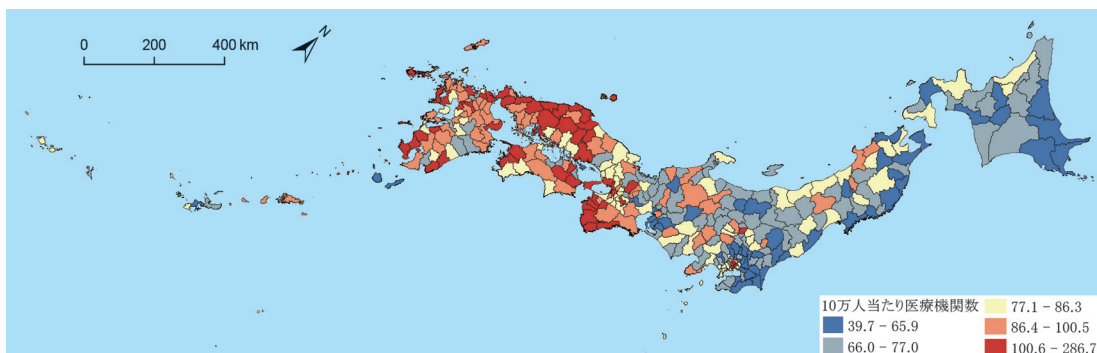


図7 二次医療圏別人口10万人当たり医療機関数

資料：医療施設調査，都道府県・市区町村のすがた（社会・人口統計体系）

はいずれも10万人に満たない。これらや、長崎（長崎県）、八幡浜・大洲（愛媛県）といった二次医療圏では、往時に比べ人口が大きく減少したことが、人口当たり医療機関数の引き上げにも寄与していよう。かつての「名残」（地理的慣性）によって、病院・診療所が相対的に多いためだと考えられるからである。人口10万人当たり医療機関数の下位10位は、中部（沖縄県）を除いて、すべて東日本のそれであるとはいえ（表2）、ある面では、こうした人口の動向が医療の西高東低を生み出しているのだとさえいえる（図7）。

ただし、都道府県別にみたように、単位人口当たりと単位面積当たりとでは、それらが指し示す地理的状況は大きく異なる。そこで次に二次医療圏別の単位面積当たりの分析を行っていく。その際、総面積当たりの状況を確認することは省略し、可住地面積でのみ分析する。

## 2. 可住地面積ベースでみた二次医療圏の医師密度・医療機関密度

可住地面積ベースでの医師密度・医療機関密度をみると、都道府県別にみた大都市部の優位性に変化はないどころか、むしろそれが際立つ（図8・9）。医師密度において上位10位までの二次医療圏のうち、7つは東京都の二次医療圏であり、残りも大阪府、神奈川県、京都府のそれである（表3）。さらに医療機関密度では上位10位のうち、8つまでが東京都の二次医療圏である。その他も大阪府と兵庫県の都市部に位置する二次医療圏である（表4）。

反対に、医師密度・医療機関密度の低いのはいずれも北海道の9つの二次医療圏と南会津（福島県）である。このうち南会津は、山間部の3町1村（下郷町、檜枝岐村、只見町、南会津町）で構成されていたものの、『第7次福島県医療計画』（2018年）からは、会津若松市等

表3 二次医療圏別医師密度（可住地面積ベース）

順位	二次医療圏名	都道府県	密度(人/km <sup>2</sup> )
1	区 中 央 部	東 京	158.80
2	区 西 部	東 京	84.31
3	区 西 南 部	東 京	49.54
4	区 西 北 部	東 京	41.52
5	大 阪 市	大 阪	39.25
6	区 南 部	東 京	37.60
7	北 多 摩 南 部	東 京	31.13
8	横 浜 南 部	神奈川	27.76
9	京 都・ 乙 訓	京 都	26.67
10	区 東 部	東 京	26.40
：	：	：	：
335	北 空 知	北海道	0.13
336	上 川 北 部	北海道	0.12
337	留 萌	北海道	0.10
338	遠 紋	北海道	0.10
339	富 良 野	北海道	0.10
340	北 渡 島 檜 山	北海道	0.09
341	南 会 津	福 島	0.09
342	日 高	北海道	0.07
343	宗 谷	北海道	0.05
344	根 室	北海道	0.05

資料：医師・歯科医師・薬剤師調査、都道府県・市区町村のすがた（社会・人口統計体系）

表4 二次医療圏別医療機関密度（可住地面積ベース）

順位	二次医療圏名	都道府県	密度(件/km <sup>2</sup> )
1	区 中 央 部	東 京	36.19
2	区 西 部	東 京	21.73
3	区 西 南 部	東 京	20.41
4	大 阪 市	大 阪	15.97
5	区 西 北 部	東 京	15.41
6	区 南 部	東 京	12.92
7	区 東 北 部	東 京	10.71
8	区 東 部	東 京	10.60
9	阪 神 南	兵 庫	9.63
10	北 多 摩 南 部	東 京	9.39
：	：	：	：
335	北 空 知	北海道	0.06
336	南 会 津	福 島	0.06
337	十 勝	北海道	0.06
338	日 高	北海道	0.06
339	富 良 野	北海道	0.05
340	上 川 北 部	北海道	0.05
341	北 渡 島 檜 山	北海道	0.05
342	宗 谷	北海道	0.04
343	遠 紋	北海道	0.04
344	根 室	北海道	0.02

資料：医療施設調査、都道府県・市区町村のすがた（社会・人口統計体系）

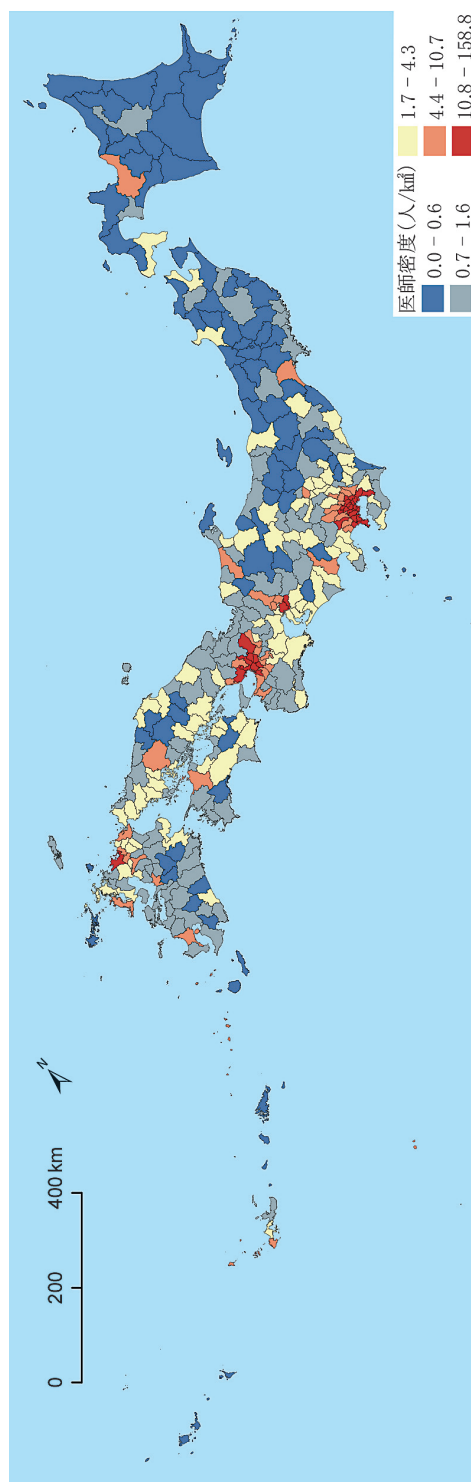


図8 二次医療圏別医師密度(人/km<sup>2</sup>;可住地面積ベース) 資料:医師・歯科医師・薬剤師調査,都道府県・市区町村のすがた(社会・人口統計体系)

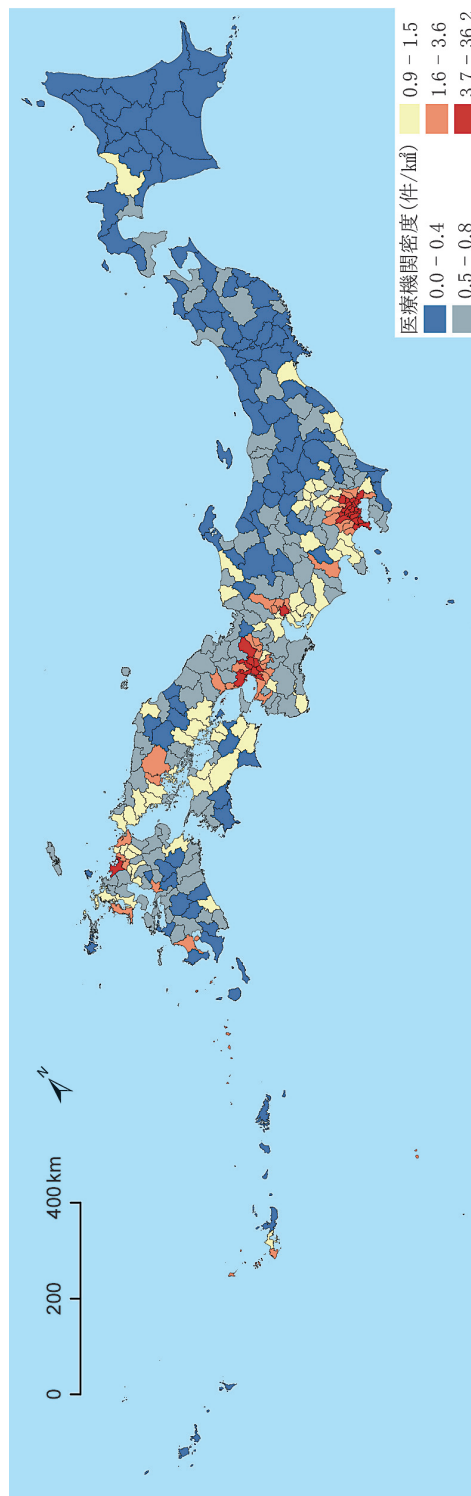


図9 二次医療圏別医療機関密度(件/km<sup>2</sup>;可住地面積ベース) 資料:医療施設調査,都道府県・市区町村のすがた(社会・人口統計体系)

を含む会津二次医療圏と「合併」し、会津・南会津二次医療圏として再設定されている。「会津への患者流出が大きい南会津」(『第7次福島県医療計画』による)は二次医療圏として十分機能していなかったためである。南会津二次医療圏を例外とみなして、医師密度・医療機関密度の低位11位の二次医療圏を加えるとすると、それはいずれも北海道の二次医療圏である(医師密度では南檜山、医療機関密度では留萌が加わる)。

かように、大都市中心部とりわけ東京の二次医療圏と、北海道の二次医療圏に代表される地方圏の二次医療圏との対照は明瞭である。しかも、医師密度では、札幌市や仙台市、金沢市、松山市の含まれる二次医療圏が上位2位の階級区分に属する(図8)のに対して、医療機関密度においてはこれらが中位の階級となる(図9)。このことに象徴されるように、医師密度以上に、医療機関密度における大都市圏の二次医療圏と地方圏の二次医療圏との対照は著しい。

二次医療圏においても、大都市部では、医師密度・医療機関密度が高いことから、医療サービスへのアクセス距離・時間が短く、相対的にアクセスが容易であると評価できるのに対して、地方圏では、医療サービスへのアクセスが相対的に困難であることは明らかである。二次医療圏が「手術や救急などの一般的な医療をその区域内で完結することを目指して設定したエリア」であればこそ、その地域間格差は軽々に見過ごせるものではない。

しかも、次にみるように、その地域間格差は「わずかな違い」で済まされる程度のものでは決していない差を持っている。これについてみておう。

## V. 大きな地域間格差

### 1. 医療機関密度・医師密度の散らばりと格差

図10は、都道府県別・二次医療圏別の人口10万人当たり医療機関数・医師数と医療機関密度・医師密度(可住地面積ベース)について、中央値を1として、それぞれの最小値と最大値、第一四分位数(下位25%)、第三四分位数(上位75%)を示したものである。それぞれの地域区分で、それぞれの指標が、どれほどの地域間格差を持つのかを比較するためである。

もっとも地域間格差が小さいといえるのが、都道府県別の人口10万人当たり医療機関数であり、最小値と最大値の差をみても、その差は1.8倍に過ぎない。都道府県別の人口10万人当たり医師数でも同様で、最小値と最大値の差はちょうど2.0倍ほどである。「西高東低」はみられたものの、その差はそれほど大きなものではない、ともいえる。

二次医療圏別の人口10万人当たり医療機関数・医師数では、最小値と最大値の差が、前者では7.4倍、後者では15.4倍ほどである。ただし、表1・2にみるように、いずれの値も区中央部(東京都)で突出しており、これを除けば、最小値と最大値の差は、医療機関数では3.4倍、医師数では6.0倍ほどに収まる。また第一四分位と第三四分位の範囲においては、都道府県別人口10万人当たり医療機関数・医師数とその差はほとんどみられない。保健医療関係の統計でしばしば用いられる人口10万人当たりという基準では、大半の地域において、医療機関数・医師数の地域間格差はそれほど大きなものではない、ともいえる。

他方、医療機関密度・医師密度では地域間格差はより大きい。都道府県別の医療機関密度・医師密度の最小値と最大値の差は、前者で55.4倍、後者では126.3倍までになる。とはいえ、これは最大値が「外れ値」ともいうべき値であることに起因するところも大きい。これは図10

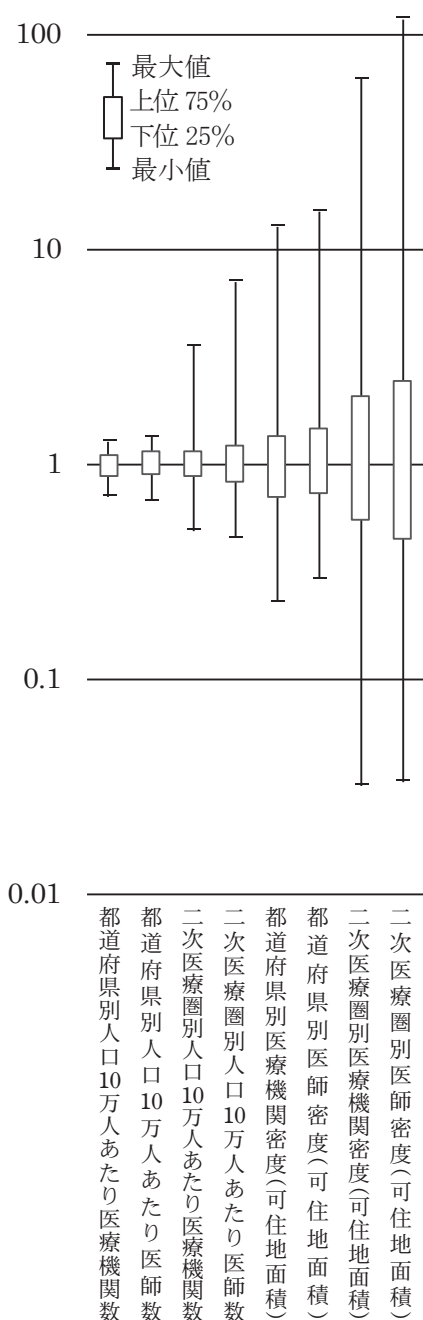


図10 医療機関密度・医師密度にみる地域間格差の大きさ（2016年）

資料：医療施設調査、医師・歯科医師・薬剤師調査、都道府県・市区町村のすがた（社会・人口統計体系）

からも見て取れる。そこで第一四分位数と第三四分位数をみると、中央値1に対して、医療機関密度では前者が0.71、後者が1.36、医師密度でも前者が0.74、後者が1.46となる。いずれも中央値に対し0.7～1.5倍の範囲にあるから、差はあるものの、ある程度の範囲に収まっているとはいえる。

これが二次医療圏別の医療機関密度・医師密度となるとやや事情が異なる。中央値1に対して、医療機関密度の第一四分位数が0.55、第三四分位数が2.06、医師密度では前者が0.45、後者が2.44となる。第一四分位数が中央値の2分の1程度、第三四分位数が2倍以上となるから、二次医療圏別の医療機関密度・医師密度は、都道府県別・二次医療圏別人口10万人当たり医療機関数・医師数や都道府県別の医療機関密度・医師密度と比べて、明らかに「散らばり」が大きい。加えて、二次医療圏別医療機関密度の最小値と最大値の差は1904.6倍、医師密度では3528.9倍にもなる。値が突出して高い東京都区部と大阪市の二次医療圏を除いた最大値でみても、最小値との差は、医療機関密度で506.8倍、医師密度で691.9倍に及ぶ。500倍や数千倍にも及ぶ差が、無視できる程度のものでないことはいうまでもない。

ところで、病院や診療所に行けば医師がいて治療を受けられるものだと一般には考えられるから、病院や診療所などの医療機関にいかにより多くの医師がいるかよりも、医療機関が一定のアクセス距離や時間内にあることこそがまずは重要だといえる。その点で医師密度よりも医療機関密度の方が一般に重視されるべきものだと考えられる。移動速度に違いがなく、単純に直線距離のみによって到達時間が決まるとすれば、広さ（面積）がアクセス距離・時間を規定するため、医療機関密度の差が医療サービスへのアクセスの地域差・地域間格差を規定しているといっても過言ではないからである。そこで医療機関密度について、こうした考え方にそって、

その実際をみてみよう。

## 2. 医療機関当たりがカバーすべき面積とその距離

ここでは、実際の医療機関の立地・配置や人口の分布状況は無視し、二次医療圏の可住地に医療機関も人口も均等・均質に立地しているものとする（抽象的な「均質的空間」を想定する<sup>3)</sup>）。そう仮定すれば、二次医療圏における医療機関密度（可住地面積ベース）の逆数は、1医療機関当たりがカバーすべき可住地面積ということになる。この1医療機関当たりがカバーすべき可住地面積がもっとも狭いのは区中央部（東京都）であり、もっとも広いのは根室（北海道）ということになる。前者では $0.03\text{km}^2$ であるのに対し、後者では $52.97\text{km}^2$ にのぼる。

それぞれの面積を持つ地域を中心に医療機関があって、そこから同心円状に領域が広がっているとしよう。 $0.03\text{km}^2$ の領域における中心から境界までの距離は97.7mである。それに対して、 $52.97\text{km}^2$ の領域では、その距離は4107.2mになる。単純に言って、両地域の境界までの直線距離には40倍以上の差がある。100mと4kmの差といえば、その距離の違いが理解しやすいであろう。

とはいえ、区中央部（東京都）の値は「外れ値」ともいえるべきものであった。そこで、中央値との差をみてみよう。可住地面積ベースによる二次医療圏医療機関密度の中央値は0.59件/ $\text{km}^2$ であり、1医療機関当たりがカバーすべき面積は $1.70\text{km}^2$ である。 $1.70\text{km}^2$ の円状の領域における中心から境界までの距離は735.8mになる。半径700mは食品スーパーのターゲット商圈として意識される場合もある範囲であり、徒歩+ $\alpha$ の距離として認識されている<sup>4)</sup>。それと比べても、4107.2mは5.6倍である。

距離であれば、これらの差はそこまで大きいとはいえないようにも感じられる。しかし、これがアクセス時間の差であると考えれば、事情

は異なる。医療において「生死を決定する因子として最も重要なのは『時間』である」（益子、2010）からだ。となれば、40倍は途方もない差だといえるし、5.6倍という差も、それが時間の差であれば、大きなものだとわざるをえない。

「広さ」は距離に還元され、距離は時間に帰着する。それゆえ、領域の広さ（面積）にも着目し、その差が生み出す差異にも十分な注意を払う必要がある。とりわけ医療の地域間格差においては、それが肝要となる。このことがここまでの分析によって、さらに明らかになったといえるだろう。

## VI. むすびにかえて

以上みてきたように、近年における医療の地域間格差を地理学的視点から捉えなおす上での第一歩として、単位面積当たりの数値、とりわけ可住地面積をベースとした医師数・医療機関の密度、なかでも医療機関密度を中心に分析を行った。

単位面積当たりでみれば、医療の地域間格差は、その「西高東低」よりも、大都市部の優位性が際立つものであった。しかも、格差の度合いは単位人口当たりの指標でみた場合に比べて明らかに大きい。人口10万人当たりといった単位人口当たりを指標にする限りは「隠蔽」されていた格差が、単位面積当たりを指標にするとうきよび上がってくる。

これはやや誇張した表現だとしても、そうした面があることは看過すべきではない。面積の差はアクセス距離の差・時間の差を規定するものともいえるから、単位面積当たり指標の差は医療サービスへのアクセスの差を示しているとみなすこともできるからである。

しかも、今回の分析は非常に簡易的な方法によるものであり、実際の医療機関の立地・配置、人口の分布状況は無視し、二次医療圏の可

住地に医療機関も人口も均等に立地している、いわば「均質的空間」を想定した上での分析であった。

言うまでもなく、医療機関は領域内に均等に分散して立地しているものではない。加藤(2011b)でも指摘したとおり、むしろ大都市・都心部への集積が顕著なもので、これは医療機関密度の少ないところこそ顕著であるとさえいえる。

図11は宮崎県、東京都周辺、根室二次医療圏の中標津町付近の病院と診療所の立地を同縮尺で示したものである。地図を埋め尽くすほどの東京都周辺の医療機関の立地に対し、根室二次医療圏における医療機関立地の低密度ぶり、その一方での中標津町中心部への相対的集積が認められる。宮崎県における立地にも似たようなことを指摘できる。現実に即した分析を行うのであれば、二次医療圏ごとの「密度」を比

較・分析しただけではまったく不十分なことが、この図から伝わってこよう。

林野や山間部の存在による可住地の外形や姿容、そして人口の分布なども含めて、実際に医療機関がカバーすべき範囲・できる範囲とそこにおける人口の偏りなどを把握していくことも医療の地域間格差を説く上では不可欠である<sup>5)</sup>。また、それらにも関係する道路ネットワークの状況も考慮に入れるべきかもしれない。

いずれにしろ、今回の分析はまったくの「第一歩」であり、地理学的視点から医療の地域間格差を本格的に捉える前の「予告」とさえ言えるものである。斯学のレゾンデートルともいうべき、「広さ」・「広がり」への視点を意識しつつ、こうした作業を続けていかなければならない。今後の課題は満ち溢れているとさえいえる状況である。

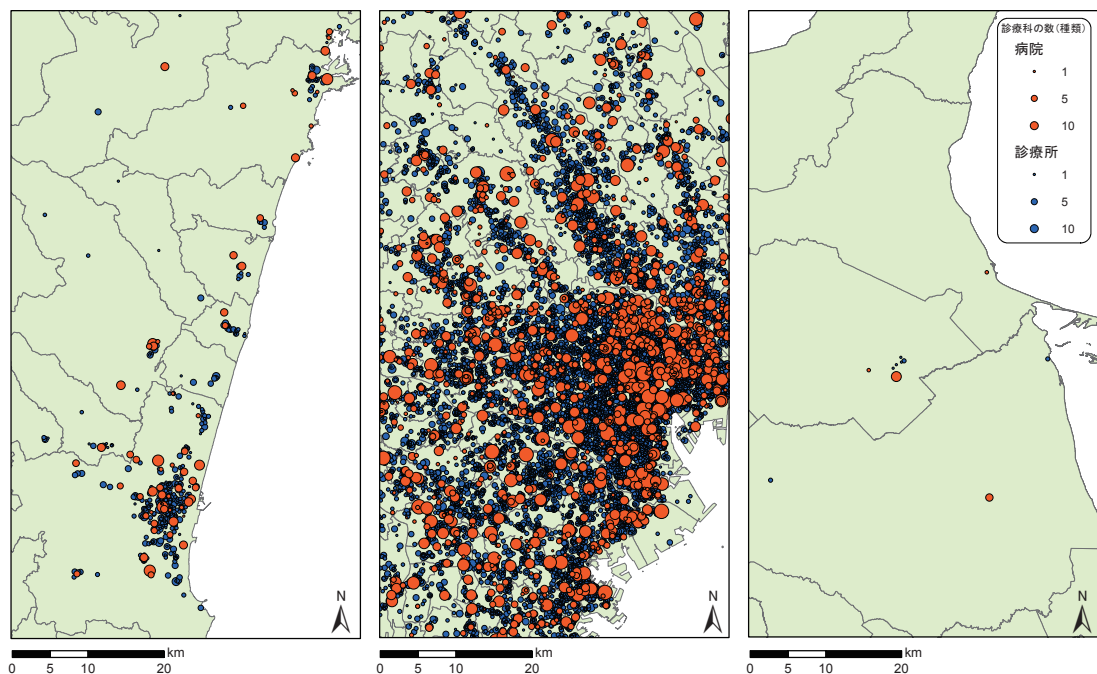


図11 宮崎県、東京都東部とその周辺、北海道中標津町付近における医療機関の立地(2016年)

資料：PAREA-Medical(全国病院・診療所位置データベース)

## 注

- 1) 同様の分析は1999年度データを使ったものからなされている。その成果は「医療費マップ」という名目で公表されていた。
- 2) これについては篠原 (2020) に詳しい。本稿でもこれを参照した。
- 3) 「均質的空間」について詳しくは加藤 (2017) を参照されたい。
- 4) ネット検索等すればこの点は容易に確認できよう。とりわけ株式会社マルエツなどは700m商圏を意識している・いたことが、以下のホームページ掲載情報などからうかがわれる。<https://www.maruettsu.co.jp/corporate/newsrelease/pdf/newsrelease100422.pdf> (最終閲覧日: 2021年1月5日)
- 5) 医療機関のカバーできる範囲、すなわち、医療サービスの市場圏には、時間地理学的な制約によって「地理的限界」が形作られる。これはサービスの「貯蔵も輸送もできない」という特性から生じるものであり、医療サービスなどの「サービス立地」では、こうした「地理的限界」をも考慮しなければならない(加藤, 2017)。そうした制約自体が、医療の地域間格差の成立・拡大の要因であるとともに結果でもあるから、こうした点についても勘案していかなければならないであろう。これについては加藤 (2020) も参照されたい。

## 文 献

- 加藤幸治 (2011a): 『サービス経済化時代の地域構造』日本経済評論社。
- 加藤幸治 (2011b): サービス消費機会の地域的格差. 経済地理学年報, 57, pp.277-294.
- 加藤幸治 (2017): サービス経済地理学における「時間」考慮の必然性. 経済地理学年報, 63, pp.23-42.
- 加藤幸治 (2020): サービス経済化と広がる地域間格差. 伊藤達也・小田宏信・加藤幸治編『経済地理学への招待』ミネルヴァ書房, pp.48-59.
- 清山知憲 (2017): 『なぜ宮崎に医師はいないのか』宮日文化情報センター。
- 篠原拓也 (2020): 二次医療圏思考 (2020) —比較を通じて, 二次医療圏に馴染んでみよう! —. ニッセイ基礎研究所 2020-09-23 (<https://www.nli-research.co.jp/report/detail/id=65501?site=nli>). 最終閲覧日: 2021年1月21日)。
- 中村 努 (2017a): 医療機関. 宮澤 仁編著『地図でみる日本の健康・医療・福祉』明石書店。
- 中村 努 (2017b): 入院病床. 宮澤 仁編著『地図でみる日本の健康・医療・福祉』明石書店。
- 前田幸宏 (2019): 医療圏. ニッポニカ編集部『日本大百科全書 (ニッポニカ)』小学館 (<https://kotobank.jp/word/%E5%8C%BB%E7%99%82%E5%9C%8F-67034>): 最終閲覧日: 2021年1月21日)
- 益子邦洋 (2010) 『「攻めの救急医療」15分ルールをめざして—脚光をあびるドクターヘリの真実—』へるす出版。

## 参照URL

- 『医療費の地域差分析』2018年版, [https://www.mhlw.go.jp/content/iryo\\_h30.pdf](https://www.mhlw.go.jp/content/iryo_h30.pdf). 最終閲覧日: 2021年1月15日。
- esri社ホームページ・データの分類方法, <https://pro.arcgis.com/ja/pro-app/help/mapping/layer-properties/data-classification-methods.htm>. 最終閲覧日: 2021年1月15日。
- 『第7次福島県医療計画』, <https://www.pref.fukushima.lg.jp/uploaded/library/300330-7th-iryokeikaku.pdf>. 最終閲覧日: 2021年1月25日。

付表 二次医療圏一覧(2016年) 1/7

都道府県	二次医療圏コード	二次医療圏名	人口 (万人)	医療機関数 (件)	病院 (件)	一般診療所 (件)	医師数 (人)	10万人あたり医療機関数 (件)	10万人あたり医師数 (人)	可住地 面積 (km <sup>2</sup> )	医療機 関密度 (件/km <sup>2</sup> )	医師 密度 (人/km <sup>2</sup> )
北海道	0101	南渡島	39.7	323	36	287	872	81.3	219.5	513.4	0.629	1.699
	0102	南檜山	2.6	18	5	13	28	69.6	108.3	191.1	0.094	0.147
	0103	北渡島檜山	3.9	23	7	16	48	58.8	122.7	508.7	0.045	0.094
	0104	札幌	234.6	1,801	236	1,565	6,853	76.8	292.2	1,427.3	1.262	4.801
	0105	後志	22.7	184	22	162	432	81.1	190.4	819.1	0.225	0.527
	0106	南空知	17.5	127	19	108	273	72.4	155.7	1,106.3	0.115	0.247
	0107	中空知	11.5	75	17	58	251	65.4	218.8	617.5	0.121	0.406
	0108	北空知	3.5	28	5	23	56	81.1	162.2	441.2	0.063	0.127
	0109	西胆振	19.6	133	21	112	416	67.8	212.1	338.4	0.393	1.229
	0110	東胆振	21.6	127	16	111	342	58.9	158.6	622.2	0.204	0.550
	0111	日高	7.3	52	7	45	67	70.8	91.2	933.6	0.056	0.072
	0112	上川中部	40.5	312	41	271	1,316	77.0	324.8	1,330.7	0.234	0.989
	0113	上川北部	6.9	47	8	39	119	68.0	172.2	974.4	0.048	0.122
	0114	富良野	4.5	29	5	24	51	64.9	114.2	528.7	0.055	0.096
	0115	留萌	5.1	43	6	37	66	83.9	128.8	662.5	0.065	0.100
	0116	宗谷	7.0	50	9	41	57	71.7	81.7	1,228.4	0.041	0.046
	0117	北網	22.7	131	26	105	327	57.7	144.0	1,864.1	0.070	0.175
	0118	遠紋	7.4	41	13	28	100	55.1	134.4	1,033.5	0.040	0.097
	0119	十勝	35.0	233	34	199	616	66.5	175.9	3,908.9	0.060	0.158
	0120	釧路	24.6	133	22	111	388	54.1	157.9	1,466.7	0.091	0.265
	0121	根室	8.1	32	7	25	77	39.7	95.6	1,695.1	0.019	0.045
青森県	0201	津軽地域	30.1	249	22	227	846	82.6	280.6	622.0	0.400	1.360
	0202	八戸地域	33.8	229	27	202	587	67.7	173.4	598.3	0.383	0.981
	0203	青森地域	32.4	265	23	242	649	81.7	200.1	374.9	0.707	1.731
	0204	西北五地域	14.3	89	8	81	159	62.3	111.3	645.6	0.138	0.246
	0205	上十三地域	18.4	103	12	91	217	56.0	118.0	761.5	0.135	0.285
	0206	下北地域	8.1	45	4	41	105	55.9	130.4	232.6	0.193	0.451
岩手県	0301	盛岡	47.8	405	39	366	1,305	84.7	272.9	972.2	0.417	1.342
	0302	岩手中部	23.1	177	13	164	324	76.6	140.2	762.5	0.232	0.425
	0303	胆江	14.0	112	9	103	211	79.7	150.2	552.5	0.203	0.382
	0304	両磐	13.5	95	10	85	204	70.3	150.9	509.5	0.186	0.400
	0305	気仙	6.6	40	3	37	94	60.7	142.7	133.3	0.300	0.705
	0306	釜石	5.0	35	6	29	70	70.0	139.9	65.8	0.532	1.064
	0307	宮古	8.9	53	6	47	93	59.5	104.4	240.2	0.221	0.387
	0308	久慈	6.4	36	4	32	81	56.6	127.3	168.6	0.214	0.480
	0309	二戸	6.0	38	3	35	76	63.0	126.1	285.6	0.133	0.266
宮城県	0401	仙南	18.2	128	13	115	266	70.4	146.4	514.6	0.249	0.517
	0403	仙台	148.3	1,245	78	1,167	4,146	84.0	279.6	821.1	1.516	5.049
	0406	大崎・栗原	28.6	192	26	166	455	67.2	159.2	1,047.5	0.183	0.434
	0409	石巻・登米・気仙沼	36.8	236	22	214	537	64.1	146.0	756.1	0.312	0.710
秋田県	0501	大館・鹿角	11.8	77	10	67	172	65.1	145.5	357.3	0.216	0.481
	0502	北秋田	3.9	33	2	31	37	85.7	96.1	208.9	0.158	0.177
	0503	能代・山本	8.9	79	7	72	154	88.5	172.6	365.5	0.216	0.421
	0504	秋田周辺	41.2	365	27	338	1,237	88.6	300.3	702.0	0.520	1.762
	0505	由利本荘・にかほ	11.1	89	8	81	190	80.2	171.2	374.4	0.238	0.507
	0506	大仙・仙北	13.9	105	8	97	202	75.5	145.2	614.4	0.171	0.329
	0507	横手	9.8	85	4	81	186	86.7	189.8	316.1	0.269	0.588
	0508	湯沢・雄勝	7.0	45	3	42	79	64.4	113.1	256.8	0.175	0.308
	0601	村山	55.9	526	33	493	1,469	94.1	262.9	935.7	0.562	1.570

付表 二次医療圏一覧(2016年) 2/7

都道府県	二次医療圏コード	二次医療圏名	人口 (万人)	医療機関数 (件)	病院 (件)	一般診療所 (件)	医師数 (人)	10万人あたり医療機関数 (件)	10万人あたり医師数 (人)	可住地 面積 (km <sup>2</sup> )	医療機 関密度 (件/km <sup>2</sup> )	医師 密度 (人/km <sup>2</sup> )
山形県	0602	最上	8.3	57	5	52	99	68.9	119.6	406.1	0.140	0.244
	0603	置賜	22.2	170	14	156	368	76.5	165.6	623.8	0.273	0.590
	0604	庄内	29.1	249	16	233	507	85.5	174.0	889.3	0.280	0.570
福島県	0701	県北	48.5	419	31	388	1,295	86.3	266.9	766.9	0.546	1.689
	0702	県中	53.6	401	33	368	1,020	74.8	190.2	972.5	0.412	1.049
	0703	県南	14.8	99	8	91	199	66.9	134.4	420.9	0.235	0.473
	0704	会津	25.9	184	18	166	454	71.0	175.1	779.2	0.236	0.583
	0705	南会津	3.0	22	1	21	31	74.5	105.0	356.4	0.062	0.087
	0706	相双	18.4	90	10	80	160	48.8	86.8	583.1	0.154	0.274
	0707	いわき	33.7	283	27	256	561	84.1	166.7	350.5	0.808	1.601
茨城県	0801	水戸	47.8	361	40	321	1,073	75.5	224.3	614.5	0.587	1.746
	0802	日立	27.1	171	22	149	371	63.2	137.1	198.1	0.863	1.873
	0803	常陸太田・ひたちなか	37.6	206	22	184	380	54.8	101.1	533.1	0.386	0.713
	0804	鹿行	28.2	131	12	119	247	46.4	87.5	550.5	0.238	0.449
	0805	土浦	26.9	195	17	178	546	72.4	202.7	332.7	0.586	1.641
	0806	つくば	33.0	252	16	236	1,295	76.5	393.0	432.5	0.583	2.994
	0807	取手・竜ヶ崎	47.4	275	23	252	753	58.0	158.8	530.5	0.518	1.419
	0808	筑西・下妻	27.8	172	15	157	263	61.8	94.5	498.2	0.345	0.528
	0809	古河・坂東	23.9	128	11	117	312	53.6	130.7	292.5	0.438	1.067
栃木県	0901	県北	38.9	247	21	226	536	63.5	137.7	1,038.2	0.238	0.516
	0902	県西	19.1	128	11	117	252	66.9	131.8	386.1	0.332	0.653
	0903	宇都宮	51.7	452	31	421	1,006	87.5	194.8	331.7	1.363	3.033
	0904	県東	15.0	105	5	100	160	70.2	107.0	364.6	0.288	0.439
	0905	県南	48.7	382	22	360	1,861	78.5	382.4	624.8	0.611	2.979
	0906	両毛	27.8	222	17	205	470	79.9	169.2	235.9	0.941	1.992
群馬県	1001	前橋	34.1	355	20	335	1,487	104.1	436.1	236.3	1.502	6.292
	1002	高崎・安中	43.7	418	32	386	860	95.7	196.9	357.4	1.170	2.406
	1003	渋川	11.8	85	10	75	231	72.1	195.8	147.9	0.575	1.562
	1004	藤岡	7.2	56	5	51	162	77.6	224.5	102.9	0.544	1.574
	1005	富岡	7.7	65	4	61	160	84.7	208.5	147.5	0.441	1.085
	1006	吾妻	6.1	44	9	35	80	72.2	131.2	303.1	0.145	0.264
	1007	沼田	8.9	63	7	56	145	70.5	162.2	363.1	0.174	0.399
	1008	伊勢崎	24.9	182	11	171	427	73.2	171.8	164.8	1.105	2.591
	1009	桐生	17.3	144	12	132	308	83.1	177.7	120.2	1.198	2.562
	1010	太田・館林	40.6	278	19	259	570	68.4	140.3	358.0	0.777	1.592
埼玉県	1101	南部	78.2	469	29	440	1,113	60.0	142.4	84.6	5.543	13.154
	1102	南西部	70.0	380	29	351	889	54.3	127.1	107.0	3.553	8.312
	1103	東部	113.2	632	49	583	1,714	55.9	151.5	249.0	2.539	6.885
	1104	さいたま	124.6	937	37	900	2,203	75.2	176.8	212.8	4.403	10.353
	1105	県央	53.6	306	18	288	822	57.1	153.4	168.1	1.820	4.889
	1106	川越比企	79.8	503	50	453	1,737	63.1	217.7	442.9	1.136	3.922
	1107	西部	78.8	479	55	424	1,568	60.8	199.1	227.2	2.109	6.903
	1108	利根	66.2	372	32	340	769	56.2	116.2	471.4	0.789	1.631
	1109	北部	52.2	395	34	361	709	75.6	135.7	475.0	0.832	1.493
	1110	秩父	10.8	94	9	85	143	87.1	132.4	135.9	0.692	1.052
千葉県	1201	千葉	95.8	726	48	678	2,637	75.8	275.2	220.9	3.287	11.939
	1202	東葛南部	171.3	1,119	61	1,058	3,038	65.3	177.4	240.3	4.658	12.645
	1203	東葛北部	134.7	826	57	769	2,363	61.3	175.4	328.6	2.514	7.192
	1204	印旛	72.2	430	29	401	1,255	59.5	173.8	548.9	0.783	2.287
	1205	香取海匝	29.7	182	21	161	529	61.2	177.8	589.9	0.309	0.897

付表 二次医療圏一覧(2016年) 3/7

都道府県	二次医療圏コード	二次医療圏名	人口 (万人)	医療機関数 (件)	病院 (件)	一般診療所 (件)	医師数 (人)	10万人 あたり医 療機関数 (件)	10万人 あたり 医師数 (人)	可住地 面積 (km <sup>2</sup> )	医療機 関密度 (件/km <sup>2</sup> )	医師 密度 (人/km <sup>2</sup> )
千葉県	1206	山武長生夷隅	45.5	277	23	254	496	60.9	109.0	748.7	0.370	0.663
	1207	安房	13.6	104	16	88	545	76.6	401.2	258.8	0.402	2.106
	1208	君津	33.0	227	18	209	491	68.7	148.6	363.1	0.625	1.352
	1209	市原	28.2	173	13	160	489	61.4	173.6	233.3	0.742	2.096
東京都	1301	区中央部	80.3	2,303	50	2,253	10,106	286.7	1258.2	63.6	36.188	158.799
	1302	区南部	106.5	1,079	44	1,035	3,140	101.3	294.8	83.5	12.922	37.605
	1303	区西南部	134.2	1,793	52	1,741	4,351	133.6	324.3	87.8	20.414	49.539
	1304	区西部	117.5	1,475	44	1,431	5,722	125.6	487.2	67.9	21.733	84.308
	1305	区西北部	185.0	1,755	96	1,659	4,730	94.9	255.7	113.9	15.406	41.520
	1306	区東北部	132.3	1,052	90	962	2,173	79.5	164.3	98.2	10.712	22.126
	1307	区東部	140.9	1,101	53	1,048	2,741	78.1	194.5	103.8	10.604	26.399
	1308	西多摩	39.5	279	30	249	638	70.5	161.3	131.0	2.129	4.869
	1309	南多摩	139.9	1,048	77	971	2,441	74.9	174.5	233.0	4.498	10.478
	1310	北多摩西部	64.0	523	25	498	1,143	81.7	178.5	85.8	6.094	13.319
	1311	北多摩南部	98.8	900	47	853	2,983	91.1	301.8	95.8	9.394	31.135
	1312	北多摩北部	72.5	505	42	463	1,249	69.6	172.2	75.5	6.687	16.539
	1313	島しょ	2.7	22	1	21	28	81.7	104.0	141.8	0.155	0.198
神奈川県	1401	横浜北部	153.4	1,298	50	1,248	2,817	84.6	183.6	165.3	7.851	17.039
	1402	横浜西部	111.0	892	49	843	2,279	80.3	205.2	124.8	7.147	18.260
	1403	横浜南部	106.3	914	35	879	3,033	86.0	285.3	109.3	8.366	27.762
	1404	川崎北部	81.5	547	20	527	1,682	67.1	206.4	72.1	7.588	23.332
	1405	川崎南部	61.1	485	20	465	1,548	79.4	253.5	64.2	7.552	24.105
	1406	横須賀・三浦	74.2	627	30	597	1,570	84.5	211.7	139.9	4.482	11.223
	1407	湘南東部	70.7	580	23	557	1,225	82.0	173.2	109.4	5.301	11.196
	1408	湘南西部	58.7	406	22	384	1,264	69.1	215.2	166.6	2.437	7.587
	1409	県央	84.7	567	32	535	1,136	67.0	134.1	181.7	3.121	6.254
	1410	相模原	71.1	450	37	413	1,657	63.3	233.1	140.1	3.213	11.831
	1411	県西	35.6	286	23	263	573	80.3	160.9	194.4	1.471	2.947
新潟県	1501	下越	22.0	172	17	155	325	78.1	147.7	738.6	0.233	0.440
	1502	新潟	91.9	780	50	730	2,252	84.9	245.1	1,110.6	0.702	2.028
	1503	県央	23.7	181	10	171	292	76.4	123.2	338.3	0.535	0.863
	1504	中越	46.1	327	20	307	759	70.9	164.6	767.5	0.426	0.989
	1505	魚沼	17.8	112	14	98	230	62.9	129.2	642.4	0.174	0.358
	1506	上越	28.4	201	14	187	444	70.7	156.1	684.0	0.294	0.649
	1507	佐渡	6.1	46	6	40	84	74.9	136.8	222.7	0.207	0.377
富山県	1601	新川	12.7	88	14	74	234	69.4	184.6	440.0	0.200	0.532
	1602	富山	50.7	430	49	381	1,464	84.8	288.8	752.8	0.571	1.945
	1603	高岡	32.5	248	27	221	604	76.4	186.1	336.2	0.738	1.797
	1604	砺波	13.7	98	16	82	264	71.8	193.3	323.6	0.303	0.816
石川県	1701	南加賀	23.6	174	21	153	394	73.6	166.6	267.0	0.652	1.476
	1702	石川中央	71.3	641	58	583	2,489	89.9	349.0	515.6	1.243	4.828
	1703	能登中部	13.7	92	11	81	251	67.0	182.9	330.1	0.279	0.760
	1704	能登北部	7.6	60	5	55	96	78.8	126.0	275.9	0.218	0.348
福井県	1801	福井・坂井	41.1	368	34	334	1,389	89.4	337.6	449.9	0.818	3.087
	1802	奥越	6.2	40	6	34	70	65.0	113.7	181.4	0.220	0.386
	1803	丹南	19.2	129	18	111	234	67.3	122.0	228.3	0.565	1.025
	1804	嶺南	14.6	112	10	102	229	76.8	157.1	215.0	0.521	1.065
山梨県	1901	中北	47.3	449	32	417	1,350	95.0	285.5	417.5	1.075	3.234
	1902	峡東	14.4	104	14	90	258	72.4	179.7	189.2	0.550	1.363
	1903	峡南	5.8	55	6	49	59	94.6	101.5	146.5	0.375	0.403
	1904	富士・東部	18.9	150	8	142	257	79.3	135.8	199.4	0.752	1.289

付表 二次医療圏一覧(2016年) 4/7

都道府県	二次医療圏コード	二次医療圏名	人口 (万人)	医療機関数 (件)	病院 (件)	一般診療所 (件)	医師数 (人)	10万人 あたり医療機関数 (件)	10万人 あたり医師数 (人)	可住地 面積 (km <sup>2</sup> )	医療機 関密度 (件/km <sup>2</sup> )	医師 密度 (人/km <sup>2</sup> )
長野県	2001	佐久	21.4	160	14	146	494	74.9	231.1	446.0	0.359	1.108
	2002	上小	20.4	136	16	120	298	66.6	146.0	246.6	0.551	1.208
	2003	諏訪	20.5	155	11	144	451	75.5	219.6	203.1	0.763	2.221
	2004	上伊那	19.0	145	10	135	269	76.3	141.5	329.0	0.441	0.818
	2005	飯伊	17.0	145	10	135	303	85.3	178.3	312.5	0.464	0.969
	2006	木曽	3.0	20	1	19	35	65.9	115.3	178.8	0.112	0.196
	2007	松本	43.4	396	28	368	1,520	91.3	350.5	510.8	0.775	2.976
	2008	大北	6.3	55	2	53	124	87.7	197.8	288.0	0.191	0.431
	2009	長野	56.0	427	35	392	1,090	76.2	194.5	559.2	0.764	1.949
	2010	北信	9.5	61	3	58	140	64.3	147.6	239.2	0.255	0.585
岐阜県	2101	岐阜	81.7	734	42	692	2,180	89.8	266.8	409.9	1.791	5.318
	2102	西濃	38.7	278	17	261	611	71.8	157.7	452.4	0.615	1.351
	2103	中濃	38.9	277	18	259	578	71.2	148.5	442.7	0.626	1.306
	2104	東濃	35.3	260	15	245	596	73.7	169.0	401.0	0.648	1.486
	2105	飛騨	15.6	142	10	132	258	90.8	165.0	494.5	0.287	0.522
静岡県	2201	賀茂	7.2	65	8	57	97	90.7	135.3	112.9	0.576	0.859
	2202	熱海伊東	11.2	100	8	92	222	89.2	198.0	77.9	1.283	2.848
	2203	駿東田方	67.9	500	48	452	1,425	73.7	209.9	462.7	1.081	3.080
	2204	富士	39.5	286	19	267	555	72.4	140.6	264.4	1.082	2.099
	2205	静岡	71.9	570	29	541	1,611	79.3	224.0	341.4	1.670	4.719
	2206	志太榛原	48.0	318	13	305	716	66.3	149.3	421.2	0.755	1.700
	2207	中東遠	47.9	327	19	308	681	68.3	142.3	534.4	0.612	1.274
	2208	西部	87.4	726	37	689	2,097	83.0	239.9	535.7	1.355	3.915
愛知県	2301	名古屋	224.8	2,189	129	2,060	6,650	97.4	295.9	315.1	6.948	21.107
	2302	海部	33.7	220	11	209	452	65.4	134.3	208.3	1.056	2.170
	2303	尾張中部	16.4	104	5	99	138	63.4	84.2	41.9	2.482	3.294
	2304	尾張東部	46.2	338	19	319	1,761	73.2	381.5	150.3	2.248	11.713
	2305	尾張西部	52.5	351	20	331	926	66.9	176.5	193.2	1.817	4.794
	2306	尾張北部	74.4	499	24	475	1,182	67.0	158.8	237.9	2.097	4.968
	2307	知多半島	62.4	411	18	393	889	65.8	142.4	353.0	1.164	2.518
	2308	西三河北部	48.1	285	18	267	718	59.2	149.1	323.3	0.882	2.221
	2309	西三河南部西	68.8	412	23	389	1,103	59.9	160.3	338.2	1.218	3.261
	2310	西三河南部東	41.7	272	15	257	530	65.2	127.1	186.8	1.456	2.838
	2311	東三河北部	6.1	56	5	51	68	92.1	111.8	132.8	0.422	0.512
	2312	東三河南部	71.2	484	36	448	1,178	68.0	165.4	498.9	0.970	2.361
三重県	2401	北勢	85.2	661	45	616	1,522	77.6	178.7	704.8	0.938	2.159
	2402	中勢伊賀	46.5	449	30	419	1,286	96.6	276.8	575.4	0.780	2.235
	2403	南勢志摩	47.7	433	20	413	1,005	90.8	210.8	617.2	0.702	1.628
	2404	東紀州	7.8	80	5	75	111	102.1	141.7	143.9	0.556	0.772
滋賀県	2501	大津	34.1	301	15	286	1,216	88.1	356.1	123.1	2.445	9.879
	2502	湖南	32.3	281	13	268	697	87.1	216.0	169.2	1.660	4.119
	2503	甲賀	14.9	96	7	89	198	64.6	133.2	190.1	0.505	1.041
	2504	東近江	23.4	156	11	145	420	66.7	179.6	327.1	0.477	1.284
	2505	湖東	15.6	120	4	116	231	76.7	147.7	140.6	0.854	1.643
	2506	湖北	16.4	124	4	120	287	75.7	175.1	229.5	0.540	1.251
	2507	湖西	5.2	41	3	38	72	78.3	137.4	118.1	0.347	0.610
京都府	2601	丹後	10.6	84	6	78	168	79.3	158.6	193.0	0.435	0.871
	2602	中丹	20.5	185	17	168	423	90.2	206.3	287.8	0.643	1.470
	2603	南丹	14.3	108	10	98	241	75.7	169.0	202.2	0.534	1.192
	2604	京都・乙訓	157.0	1,838	110	1,728	6,411	117.1	408.3	240.4	7.647	26.671
	2605	山城北	44.5	331	24	307	803	74.4	180.5	143.5	2.306	5.594

付表 二次医療圏一覧(2016年) 5/7

都道府県	二次医療圏コード	二次医療圏名	人口 (万人)	医療機関数 (件)	病院 (件)	一般診療所 (件)	医師数 (人)	10万人あたり医療機関数 (件)	10万人あたり医師数 (人)	可住地 面積 (km <sup>2</sup> )	医療機 関密度 (件/km <sup>2</sup> )	医師 密度 (人/km <sup>2</sup> )
大阪府	2606	山城南	11.8	95	3	92	157	80.3	132.7	109.5	0.867	1.433
	2701	豊能	102.4	1,013	47	966	3,538	98.9	345.6	141.7	7.149	24.970
	2702	三島	74.8	623	39	584	1,914	83.3	255.9	126.0	4.946	15.194
	2703	北河内	118.5	953	61	892	2,598	80.4	219.2	149.3	6.382	17.399
	2704	中河内	84.5	699	38	661	1,479	82.7	175.0	106.6	6.560	13.880
	2705	南河内	63.1	504	38	466	1,720	79.8	272.4	161.1	3.129	10.678
	2706	堺市	84.9	774	44	730	1,906	91.1	224.4	145.8	5.310	13.075
	2707	泉州	92.7	748	76	672	1,890	80.7	203.9	268.6	2.785	7.036
兵庫県	2708	大阪市	266.3	3,596	180	3,416	8,841	135.0	331.9	225.2	15.965	39.251
	2801	神戸	155.5	1,680	110	1,570	4,669	108.0	300.2	331.6	5.066	14.081
	2802	阪神南	104.5	1,199	52	1,147	2,923	114.8	279.8	124.5	9.630	23.476
	2803	阪神北	74.3	629	36	593	1,337	84.7	180.0	195.6	3.216	6.837
	2804	東播磨	72.9	575	38	537	1,407	78.8	192.9	226.2	2.542	6.221
	2805	北播磨	28.4	228	22	206	595	80.3	209.4	398.4	0.572	1.494
	2806	中播磨	58.9	470	38	432	1,198	79.8	203.4	294.7	1.595	4.066
	2807	西播磨	27.4	206	24	182	410	75.2	149.6	335.2	0.615	1.223
	2808	但馬	18.3	154	11	143	346	84.3	189.4	368.0	0.419	0.940
	2809	丹波	11.3	91	8	83	199	80.7	176.4	217.4	0.419	0.915
奈良県	2810	淡路	14.5	151	11	140	298	103.9	205.1	288.5	0.523	1.033
	2901	奈良	36.5	411	23	388	919	112.7	251.9	144.0	2.854	6.381
	2902	東和	21.8	171	12	159	563	78.4	258.0	227.8	0.751	2.471
	2903	西和	35.5	298	18	280	655	83.8	184.3	124.3	2.397	5.268
	2904	中和	38.6	330	20	310	1,038	85.5	269.1	156.7	2.106	6.623
和歌山県	2905	南和	8.1	75	4	71	122	92.6	150.7	198.3	0.378	0.615
	3001	和歌山	44.5	555	43	512	1,680	124.7	377.5	240.1	2.312	6.997
	3002	那賀	12.0	112	8	104	188	93.2	156.5	143.5	0.781	1.310
	3003	橋本	9.3	99	5	94	181	105.9	193.6	123.4	0.802	1.467
	3004	有田	8.0	83	6	77	123	104.3	154.6	142.0	0.585	0.866
	3005	御坊	6.7	71	4	67	153	105.5	227.3	135.8	0.523	1.126
	3006	田辺	13.7	139	9	130	300	101.5	219.1	219.9	0.632	1.364
	3007	新宮	7.4	80	8	72	143	108.6	194.1	89.6	0.893	1.597
鳥取県	3101	東部	23.7	207	14	193	524	87.4	221.3	305.0	0.679	1.718
	3102	中部	10.9	93	10	83	211	85.3	193.5	249.0	0.373	0.847
	3103	西部	24.3	247	20	227	964	101.9	397.5	356.5	0.693	2.704
島根県	3201	松江	24.8	262	15	247	612	105.8	247.0	260.9	1.004	2.346
	3202	雲南	6.2	57	5	52	77	92.7	125.2	206.4	0.276	0.373
	3203	出雲	17.5	176	11	165	767	100.7	439.0	228.6	0.770	3.355
	3204	大田	5.9	76	4	72	93	129.2	158.1	194.2	0.391	0.479
	3205	浜田	8.4	103	9	94	168	122.6	200.0	201.4	0.511	0.834
	3206	益田	6.5	80	5	75	133	123.3	205.0	148.8	0.538	0.894
	3207	隠岐	2.1	22	2	20	29	103.3	136.1	48.5	0.454	0.598
岡山県	3301	県南東部	91.6	948	78	870	3,245	103.5	354.2	779.5	1.216	4.163
	3302	県南西部	72.2	568	53	515	1,984	78.7	274.9	591.8	0.960	3.353
	3303	高梁・新見	6.7	74	8	66	86	111.0	129.0	215.5	0.343	0.399
	3304	真庭	5.1	52	7	45	78	102.9	154.3	173.4	0.300	0.450
	3305	津山・英田	19.1	183	18	165	359	95.9	188.2	461.5	0.397	0.778
広島県	3401	広島	135.7	1,440	98	1,342	3,844	106.1	283.2	587.5	2.451	6.543
	3402	広島西	14.6	141	13	128	387	96.4	264.5	90.5	1.558	4.277
	3403	呉	26.6	286	30	256	767	107.6	288.6	200.1	1.429	3.833
	3404	広島中央	22.0	189	20	169	432	86.1	196.7	291.1	0.649	1.484
	3405	尾三	26.4	235	25	210	550	89.1	208.6	380.7	0.617	1.445

付表 二次医療圏一覧(2016年) 6/7

都道府県	二次医療圏コード	二次医療圏名	人口 (万人)	医療機関数 (件)	病院 (件)	一般診療所 (件)	医師数 (人)	10万人 あたり医 療機関数 (件)	10万人 あたり 医師数 (人)	可住地 面積 (km <sup>2</sup> )	医療機 関密度 (件/km <sup>2</sup> )	医師 密度 (人/km <sup>2</sup> )
山口県	3406	福山・府中	52.5	421	47	374	1,029	80.2	195.9	369.8	1.139	2.783
	3407	備北	9.6	104	11	93	215	108.5	224.4	370.7	0.281	0.580
	3501	岩国	15.1	146	17	129	288	96.9	191.2	165.5	0.882	1.740
	3502	柳井	8.6	81	9	72	162	94.6	189.2	182.6	0.444	0.887
	3503	周南	26.0	242	24	218	497	93.0	191.1	226.1	1.070	2.198
	3504	山口・防府	31.3	283	27	256	668	90.5	213.7	339.2	0.834	1.969
	3505	宇部・小野田	26.5	277	30	247	971	104.5	366.3	326.6	0.848	2.973
	3506	下関	27.9	307	27	280	697	110.1	249.9	240.4	1.277	2.900
	3507	長門	3.8	33	6	27	62	87.3	164.0	86.9	0.380	0.713
徳島県	3508	萩	5.7	61	7	54	91	107.7	160.7	147.1	0.415	0.619
	3601	東部	53.9	620	75	545	1,836	115.1	340.9	504.5	1.229	3.639
	3603	南部	15.8	143	20	123	374	90.3	236.3	124.1	1.152	3.013
	3605	西部	8.8	95	17	78	159	107.9	180.7	293.0	0.324	0.543
香川県	3701	大川	8.6	64	5	59	123	74.1	142.5	277.2	0.231	0.444
	3702	小豆	3.1	18	3	15	45	57.3	143.1	53.5	0.336	0.841
	3703	高松	46.0	473	38	435	1,546	102.9	336.3	401.3	1.179	3.853
	3704	中讃	30.0	263	31	232	717	87.7	239.0	330.5	0.796	2.170
	3705	三豊	13.3	102	13	89	252	76.5	189.1	217.8	0.468	1.157
愛媛県	3801	宇摩	9.2	64	9	55	145	69.5	157.4	94.3	0.679	1.538
	3802	新居浜・西条	23.9	211	22	189	446	88.4	186.9	218.7	0.965	2.040
	3803	今治	17.6	150	30	120	310	85.0	175.8	210.6	0.712	1.472
	3804	松山	65.3	649	52	597	2,180	99.4	333.8	480.1	1.352	4.541
	3805	八幡浜・大洲	15.6	187	16	171	271	119.8	173.7	424.6	0.440	0.638
	3806	宇和島	12.4	132	12	120	257	106.7	207.8	236.8	0.558	1.085
高知県	3901	安芸	5.3	45	7	38	95	84.5	178.3	143.8	0.313	0.660
	3902	中央	54.7	520	97	423	1,860	95.0	339.8	585.3	0.888	3.178
	3903	高幡	6.1	50	8	42	81	82.1	133.1	183.9	0.272	0.441
	3904	幡多	9.4	80	18	62	170	85.1	180.9	246.3	0.325	0.690
福岡県	4001	福岡・糸島	156.0	1,734	123	1,611	5,835	111.2	374.1	349.2	4.966	16.710
	4002	粕屋	28.1	200	26	174	537	71.2	191.1	111.7	1.791	4.808
	4003	宗像	15.4	131	14	117	257	85.3	167.3	110.1	1.189	2.333
	4004	筑紫	43.2	320	27	293	833	74.1	192.8	112.1	2.855	7.432
	4005	朝倉	8.9	82	8	74	157	92.2	176.4	180.3	0.455	0.871
	4006	久留米	46.3	498	49	449	2,064	107.5	445.5	371.2	1.342	5.560
	4007	八女・筑後	13.8	136	14	122	284	98.9	206.5	231.6	0.587	1.226
	4008	有明	23.4	247	33	214	562	105.4	239.7	226.4	1.091	2.482
	4009	飯塚	18.8	189	22	167	592	100.4	314.5	181.6	1.041	3.260
	4010	直方・鞍手	11.4	115	12	103	208	100.7	182.2	131.5	0.874	1.582
	4011	田川	13.5	124	16	108	246	91.6	181.6	146.9	0.844	1.675
	4012	北九州	112.4	1,164	102	1,062	3,344	103.5	297.4	370.0	3.146	9.037
	4013	京築	19.3	175	15	160	269	90.9	139.7	260.4	0.672	1.033
佐賀県	4101	中部	35.3	351	39	312	1,294	99.5	366.9	463.4	0.758	2.793
	4102	東部	12.4	118	14	104	222	95.1	178.9	115.8	1.019	1.917
	4103	北部	13.6	121	18	103	277	89.3	204.4	254.7	0.475	1.088
	4104	西部	7.9	71	11	60	120	90.3	152.7	144.6	0.491	0.830
	4105	南部	16.2	137	25	112	379	84.4	233.5	355.6	0.385	1.066
長崎県	4201	長崎	54.3	698	54	644	2,052	128.5	377.7	322.0	2.168	6.372
	4202	佐世保県北	33.6	310	37	273	738	92.3	219.7	387.1	0.801	1.907
	4203	県央	27.3	284	31	253	817	104.0	299.1	329.0	0.863	2.484
	4204	県南	14.6	123	17	106	243	84.0	165.9	264.3	0.465	0.919
	4206	五島	4.1	45	4	41	71	111.1	175.2	146.5	0.307	0.485

付表 二次医療圏一覧(2016年) 7/7

都道府県	二次医療圏コード	二次医療圏名	人口 (万人)	医療機関数 (件)	病院 (件)	一般診療所 (件)	医師数 (人)	10万人あたり医療機関数 (件)	10万人あたり医師数 (人)	可住地 面積 (km <sup>2</sup> )	医療機 関密度 (件/km <sup>2</sup> )	医師 密度 (人/km <sup>2</sup> )
長崎県	4207	上五島	2.5	23	1	22	29	93.2	117.6	52.9	0.435	0.549
	4208	杵岐	2.9	23	5	18	43	78.9	147.6	82.0	0.280	0.524
	4209	対馬	3.4	34	2	32	49	100.3	144.6	76.9	0.442	0.637
熊本県	4301	熊本	73.2	713	94	619	3,057	97.4	417.7	328.4	2.171	9.308
	4302	宇城	11.1	81	12	69	174	72.6	156.1	209.5	0.387	0.830
	4303	有明	16.9	139	12	127	289	82.4	171.2	291.0	0.478	0.993
	4304	鹿本	5.6	49	6	43	97	87.8	173.8	144.9	0.338	0.669
	4305	菊池	18.1	148	16	132	322	82.0	178.3	251.1	0.589	1.282
	4306	阿蘇	6.8	48	5	43	86	70.4	126.1	370.2	0.130	0.232
	4307	上益城	8.9	73	13	60	115	81.9	129.0	272.3	0.268	0.422
	4308	八代	14.6	143	12	131	318	98.3	218.5	208.8	0.685	1.523
	4309	芦北	5.1	58	11	47	136	113.0	265.0	104.4	0.556	1.303
	4310	球磨	9.5	95	13	82	176	100.5	186.2	261.0	0.364	0.674
大分県	4311	天草	12.8	119	18	101	231	93.3	181.2	296.4	0.402	0.779
	4401	東部	21.6	224	36	188	659	103.8	305.3	323.7	0.692	2.036
	4403	中部	57.4	516	62	454	1,741	89.9	303.2	450.0	1.147	3.869
	4405	南部	7.8	68	8	60	131	87.5	168.5	113.5	0.599	1.155
	4406	豊肥	6.4	63	7	56	113	98.5	176.7	289.9	0.217	0.390
	4408	西部	9.8	95	20	75	154	96.6	156.7	200.0	0.475	0.770
宮崎県	4409	北部	16.9	155	24	131	317	91.6	187.3	369.9	0.419	0.857
	4501	宮崎東諸県	43.3	441	41	400	1,449	101.9	334.8	364.7	1.209	3.974
	4502	都城北諸県	19.6	160	28	132	356	81.8	182.0	324.2	0.494	1.098
	4503	延岡西白杵	15.3	117	20	97	245	76.3	159.9	211.1	0.554	1.160
	4504	日南串間	7.8	79	12	67	163	101.1	208.6	190.2	0.415	0.857
	4505	西諸	8.0	74	16	58	124	92.3	154.6	279.1	0.265	0.444
	4506	西都児湯	10.7	91	10	81	131	85.0	122.3	314.9	0.289	0.416
鹿児島県	4507	日向入郷	9.4	69	13	56	145	73.4	154.3	160.8	0.429	0.902
	4601	鹿児島	68.9	721	111	610	2,566	104.6	372.2	425.1	1.696	6.037
	4603	南薩	14.4	151	33	118	285	104.9	198.0	413.0	0.366	0.690
	4605	川薩	12.3	145	17	128	248	117.9	201.7	322.1	0.450	0.770
	4606	出水	9.0	75	8	67	133	83.4	148.0	220.8	0.340	0.602
	4607	始良・伊佐	24.3	232	33	199	458	95.6	188.7	432.4	0.537	1.059
	4609	曾於	8.8	62	9	53	79	70.7	90.1	355.6	0.174	0.222
	4610	肝属	16.3	143	22	121	286	87.9	175.7	432.0	0.331	0.662
	4611	熊毛	4.5	28	4	24	51	62.6	114.1	252.5	0.111	0.202
	4612	奄美	11.7	105	15	90	198	90.0	169.7	415.1	0.253	0.477
沖縄県	4701	北部	10.2	77	10	67	199	75.2	194.4	243.3	0.317	0.818
	4702	中部	50.0	253	29	224	922	50.6	184.5	261.8	0.967	3.522
	4703	南部	72.6	577	48	529	2,192	79.5	301.9	295.1	1.955	7.428
	4704	宮古	5.6	41	4	37	100	73.5	179.3	187.7	0.218	0.533
	4705	八重山	5.4	42	3	39	85	77.9	157.6	184.5	0.228	0.461

原資料:住民基本台帳(2015年),医療施設調査(2016年),医師・歯科医師・薬剤師調査(2016年),全国都道府県市区町村面積調(2015年)